

# 異なる情報共有システム間のデータ連携に向けて



高度情報化研究センター

情報基盤研究室 主任研究官 青山 憲明 研究官 井星 雄貴 室長 重高 浩一

(キーワード) CALS/EC、情報共有システム、データ連携

## 1. はじめに

国土交通省では、工事施工中における受発注者間の情報交換・共有の効率化を実現するために、情報共有システムの試行運用を行っており、受発注者間で各種書類やスケジュール等を共有することにより業務改善に効果を上げている。

情報共有システムのさらなる普及拡大にあたっては、受発注者がそれぞれ使いやすい情報共有システムを選択して利用できること、年度を跨る工事において、情報共有システムの切り替わり時にデータが円滑に移管できることが重要である。このためには、異なる情報共有システム間のデータ連携（図-1参照）を実現する必要がある。データ連携の実現に向けて、国土交通省、情報共有システム提供ベンダ等からなる情報共有システムデータ連携勉強会を設置し、データ連携仕様等を検討した。

## 2. 主な検討内容

データ連携のニーズ・効果等を整理し、連携の対象とする機能やデータ項目等を選定した。連携が必要な機能として、具体的には、掲示板機能、スケジュール管理機能、ワークフロー機能等を選定した。

データ連携方式は、開発期間が比較的短く、運用主体を各ベンダに委ねられる「サーバ間直接連携方式」、通信方式は、「SMTPプロトコルによるメール連携方式」を採用した。この通信方式は、各情報共有システム毎にメールサーバを別途構築し、書庫化されたZIP形式の標準メッセージをメールに添付し連携するものである。採用したデータ連携方式、通信方式の課題としては、通信時のなりすまし、データの盗聴・改ざんといったセキュリティやシステム認証等が上げられ、十分な対策が必要である。

このデータ連携方式、通信方式で通常業務の運用が十分に行えるかを実証実験にて検証し、その有効性を確認した。

## 3. おわりに

今後は、今回検討したデータ連携仕様に基づき、情報共有システム機能要件の改定を行うとともに、データ連携範囲の拡大やモバイル機器等との連携について検討して参りたい。

## 【参考文献】

上田・東耕・井星・青山・重高：受発注者間の情報共有システムに求められる機能に関する検討、土木技術資料、pp.6-9、2012.2

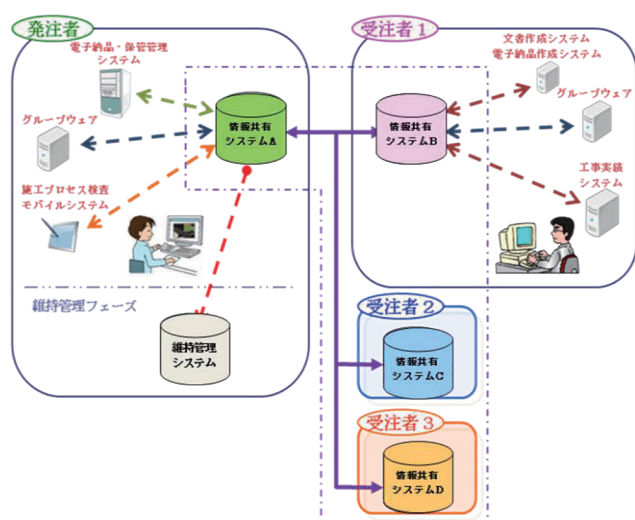


図-1 データ連携のイメージ